



# THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO PALACE

The service club of the YMCA Affiliated with the international association of Y's Men's clubs "To acknowledge the duty that accompanies every right"



03  
2026

## 心を求めて例会に到り 境地を得る例会を去る

強調月間 CS

京都パレスワイズメンズクラブ会長  
新納 麻衣子  
「恩返し and 恩送り」  
～恩送りのバトンを次の世代に～  
"give back and pay it forward"

国際会長(IP)  
Edward Ong (シンガポール)  
「信念、愛、行動」  
～共に、より強く～  
"Faith, Love, Action"  
"Together Stronger"

アジア太平洋地域会長(AP)  
田上 正 (熊本むさしクラブ)  
「信念と愛を持って行動しよう!」  
～YMCA、ユースと共に地域社会に  
貢献しよう!～  
"Act now with faith and love!"  
"Contribute to local society together  
with YMCA and Youth!"

西日本区理事  
中井 信一 (奈良クラブ)  
「世界中の仲間とYYYライフを  
楽しみましょう!!」  
～あなたに寄り添う。  
あなたを忘れない。～  
"Let's enjoy the YYY life together  
with our friends all over the world!!"  
"Stay with you. Never forget you."

京都部部长  
隠塚 功 (京都パレスクラブ)  
「次のステージを求めて!」  
"Looking for the next stage!"

会 長 新 納 麻衣子  
副 会 長 川 田 拓 志  
副 会 長 小 林 千 春  
書 記 大 森 夏 彦  
書 記 倉 貫 彰 子  
会 計 小 森 由 子  
会 計 堀 靖 之

<https://kyoto-palace.net>  
Bulletin 2026.03.01発行  
第55巻 第9号 通巻641号  
CHARTERED 1971



今月の聖句

マタイによる福音書 28章20節  
わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。



ラオスにYMCAを!! プロジェクト 2  
全てに時がある

西村 隆夫

ワイズメンズクラブ国際書記長 (2010-2019)  
在ビエンチャン (タイ・チェンマイワイズメンズクラブ所属)

2月号での大野ワイズのご説明にありました様に紆余曲折があり、相当な年月が掛りましたが、やっとラオス国立大学内のLJIセンター（ラオス日本人材開発センター）と学校運営会社のYMサービス・ラオ社とのMOA, 基本合意書を交わすことができました。

同センターは、2000年1月、33年ぶりに小渕恵三首相がラオスを公式訪問し、ラオスの市場経済への移行期を支援し、人的交流を通じて人材育成を推進することを約束され、同センターの設立が提案され、2001年に建設されました。その経緯とその目的からも、我々の、Vientian YMCA Center of Hotel Management (ビエンチャンYMCAホテルマネジメントセンター)の開校場所としては、その当初の日本政府の目的と観光立国を目指す、ラオスにとっても、今まさに必要とされるホテル学校ということになり、やはり“全てに時がある”と考えさせられます。(コヘレトの言葉)

学校名も、東京YMCAホテル専門学校で使われているCollegeを望んだのですが、国立大学内の色々な決まりがあり、最終的には、前号でも触れられた奇跡の逆転ホームラン劇の教育スポーツ大臣との面談で、大臣から指示された名前がCenterでありました。

これから、秋の開校に向けて色々な課題をこなしていかなければなりません。京都パレスクラブさんの50周年記念の献金を元に、有志の会の皆さんの心温まる献金に加えて、東日本区から支援もいただいておりますが、今後、大変重要な日本のホテル企業様との協力関係など協議が進むことになると思います。

ラオスにYMCAホテル学校を。。。そして、その次の大きな目標である、“ラオスにYMCAを”また併せて“ラオスにワイズメンズクラブ”をという目標に繋がるこれからの長期的なラオスにおける我々の夢に向かって、京都、日本、アジア太平洋、世界の仲間の理解と祈りが益々必要になってくると思います。

チャーター 55周年を迎えられる京都パレスクラブの皆さんには引き続き、ご指導、ご声援をお願いしたいと思っております。ワイズリー

### 例会出席

	2月第一例会	2月第二例会
在籍クラブ会員数	70名	70名
担当主事	1名	1名
パレス功労会員数	1名	1名
パレス維持会員数	3名	3名
月間MU総数	7名	7名
月間出席者数	51名	51名
月間出席率	82.9%	82.9%
メンバー	41名	47名
メネット	0名	1名
コメント	0名	0名
ゲスト	0名	4名
ビジター	0名	1名
スピーカー	0名	1名

### ニコニコ / ファンド

ニコニコ2月第一例会	0円
ニコニコ2月第二例会	7,000円
累計	153,000円
ファン収益2月	11,190円
累計	1,274,522円

## 2月第一例会

TOF例会 第1295回

02-10 tue. 京都YMCA

大橋 芳夫 

断食の時を表すTOF、本日は食事が無く例会場もYMCA。しかも、水曜日が祝日なので、前日の火曜日という色々珍しい設えでした。それでも、101号室が満員となるメンバーが集まり、メンバースピーチ例会がおこなわれました。堤ワイズ独特の司会で進行し、2月のスケジュールはワイズの予定でいっぱいという会長からの挨拶に始まり、3名のメンバースピーチがおこなわれました。

不動産業の山村ワイズは、独立の際に税理士を新納ワイズ、登記を谷口ワイズに頼んでしまい、パレスに入るべくして来られたんだなど。お酒、旅行が好きとのことでした。

アナウンサー、気象予報士の神谷ワイズは、ほぼ女子ばかりの世界から色々な出会いがあり、創業100年の瓦屋から今に至ると、結構生々しい話で面白かったです。

織物会社の超ベテラン新人の岡本ワイズは、大野ワイズにあこがれてパレスに再入会されたと。着物もイケオジのツールになるなど、人生の引き出しの多さに驚きました。

3人だけでもバラエティーに富んでいて、今後パレスがもっと面白くなるんだろなど感じる例会になりました。



## 2月第二例会

第1296回

02-25 wed. ホテルオークラ京都

堤 雄次 



2月第2例会は久しぶりのゲストスピーカーをお迎えして開催され、元阪神タイガーストレーナーの権田康徳様をお迎えしました。長年プロ野球の現場で選手のコンディショニングやけがの予防・回復に携わってこられた経験をもとに、トップアスリートを支える裏側やチームを陰で支える役割の大切さについて具体的なエピソードを交えてお話いただきました。参加者は熱心に耳を傾け、質疑応答も活発におこなわれるなど、大変充実した学びの時間となりました。また和敬学園の生徒達への奨学金贈呈も執りおこなわれ、クラブの継続した奉仕活動の意義を改めて共有する機会となりました。

終始和やかな雰囲気の中であらためて感じたのは、会員同士の交流そして結束力を強めることにより、クラブが一丸となった時により大きな力を発揮するというを確認しました。

55周年に向けてガンバ!

## 京都 YMCA チャリティーバザー

02-22 sun. 京都 YMCA 原 弘治 

打って変わって暖かくなった2月22日、京都YMCAでチャリティーバザーがおこなわれました。このバザーの収益はリトリートセンター60周年記念募金、または青少年育成やYMCAの各地域を支援する活動の一環に使われ、パレスクラブからはYサ委員会として綿菓子販売の出店をしました。カラフルな綿菓子を100円で販売し、地域の方や子どもたちに楽しんでもらいました。会場では焼きそば・フランクフルト・肉まん・おにぎりなど各種飲食を販売、2階では子供たちが遊べる輪投げ・スマー

トボール、またアレルギー対策をしたお菓子やカレーの販売をしておりました。訪れた方々も食べて、遊んで、楽しい時間を過ごされておりました。毎年、開場前からバザーを目的とした方々が列をなしてスタンバイ！開場したバザーの活気がちょっと怖かったです（笑）。パレスでは、綿菓子をおよそ70本程度売り上げ、収益はYMCAに寄付されました。参加いただいたメンバーの皆様、森田ワイズ、隠塚部長、Yサ委員会の皆様、お疲れ様でした！



## 京都部CSチャリティーボウリング

02-23 mon. MK ボウル上賀茂 渡邊 大介 

今期の京都部CSチャリティーボウリング大会は全体で約200名の参加登録があり、パレスクラブからはメンバー、メネット、コメット含め15名と和敬学園から学生と職員の方で26名のご招待をあわせて41名の参加となりました。

個人戦や、各クラブ3名のスコアで競う団体戦に加え、各クラブ代表者の1投勝負といった企画がおこなわれました。この日も正装で決めてきたMC山田国際交流主査

は全てのレーンを何度も往復し、声が枯れるまで盛り上げられ、また、渡邊えみCS主査の所属するキャピタルクラブからは多くのメンバーの運営協力のもと大成功をおさめられました。

今回も和敬学園生に多くの景品が当たる度に歓声が聞こえ、楽しんでおられる姿が印象的でした。家族で参加された安田光一CS委員長をはじめとした委員会の皆さん、参加された方々お疲れさまでした！





## リトリートセンター開設60周年記念募金



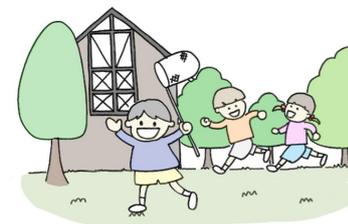
本募金には多くの皆さまよりご支援をいただき、現在の寄付総額は9,800,038円となっております。心より感謝申し上げます。

子どもたちや青少年の育ちの場として、今後も一層充実させてまいります。

引き続き、募金へのご協力をお願いいたします。詳細は下記二次元コード、または以下のURLをご覧ください。

<https://kyotoymca.or.jp/facilities/?p=1446>

※クレジットカードによるオンライン決済もご利用いただけます。



### 2月役員会議事録

- 第1号議案 4月第一例会(通常例会)の件【承認】
- 第2号議案 4月第二例会(55周年記念例会)の件【承認】
- 第3号議案 日本赤十字献血サポートの件【承認】
- 第4号議案 2027-2028年度(次々期)西日本区事業主任輩出依頼の件【承認】
- 第5号議案 委員会配属の件【承認】
- 第6号議案 慶弔金拠出の件【承認】



### 今後の予定

- 03-03 Tue. 55周年記念例会実行委員会
- 03-04 Wed. 3月役員会
- 03-08 Sun. YMCAリーダー活動感謝会
- 03-11 Wed. 3月第一例会
- 03-20 Fri. 第2回京都部  
リトセン・チャリティーゴルフ大会
- 03-25 Wed. 3月第二例会



### Happy Birthday!

- 08 石原 正也    11 守本 一平    24 辰巳 智寛
- 08 安田 久理人    17 福井 正太

### Happy Anniversary!

- 03 安田 久理人・麗子 夫妻    20 大橋 芳夫・晶子 夫妻
- 06 大下 久弥・潤子 夫妻    22 井上 均・有子 夫妻
- 13 川上 孝司・ひで子 夫妻



会社訪問 | vol.17

## 株式会社 オクトパス

Q1 なぜこのお仕事？

A コンサル会社を経て人材紹介業へ。その中で出会ったクライアントさんが独立を希望され、お手伝いするとあれやこれやで役員になってました。

Q2 仕事をする中で大切にされていることは？

A 主に社内環境を整えることです。モチベーションの維持等いろいろです。

Q3 苦労していることは？

A 技術者でもないのに、分かったようなふりをすることです。

Q4 事業を営む中で嬉しかったことは？

A ご提案したシステム等を、長期間にわたり便利にご利用いただけることです。

Q5 今後の展望（課題）は？

A 事業承継ですね。いかに円滑に進めていくかが今後の課題です。

Q6とQ7は最終プリテンで発表します。

中京区でソフトやシステム開発事業を営んでおられる一博さん。最初の印象は怖かったです。でも、お会いする回数が増えていくうちに物事を俯瞰的に客観的に見られかつ合理的な意見を出すとても賢い方という印象に変わりました（怖いのは変わってません）。私が持っていない物を沢山お持ちだなというも思います（誉め言葉です）。お忙しいところお時間ありがとうございました！



設立：平成17年  
従業員数：15名

会社訪問 | vol.18

## 永井庭園

Q1 なぜこのお仕事？

A 四人兄弟の末っ子。三番目の兄も同じ造園業に携わっており、その影響を受けてこの道を志しました。山梨県から京都へ渡り、七年間の修業を積んだ後、建築関係の会社三社でさらに研鑽を重ね、独立しました。

Q2 経営する中で大切にされていることは？

A 納まりを綺麗にしています。大工さんで言う墨木(すみぎ)のとりあいや仕口部分(しくち)を丁寧にしています。

Q3 苦労していることは？

A 資金が・・・人員不足です。アルバイト募集中です。

Q4 事業をする中で嬉しかったことは？

A やっぱりお客様から感謝のお言葉を頂いた時です。

Q5 今後の展望（目標）は？

A いざって時に駆け付けられる技術人になることです。



設立：平成20年 一人親方

Q6とQ7は最終プリテンで発表します。

左京区で造園業を営んでおられる永井さん。いつも独特の空気感でハラハラする時もありますが、結果、場を和ますプロの永井さん。取材で現場を訪れた際、ふと見せた横顔に、強いこだわりと誇りを感じカッコよかったです。現場に押しかけてお時間をいただきありがとうございました！



広報委員長の  
つぶやき

先日の委員会で、「責任は一人で背負わなくていい」と言ってもらった。トラブルは抱え込まず共有し、皆で解決していこうと。これまで私は、人知れず処理するのが責任の取り方だと思っていたが、どうやら昭和の美学だったらしい。調べてみると、エイミー・C・エドモンドソンが説く“心理的安全性”の通り、安心して失敗や課題を出せる組織こそ強いという。この会にいるからこそ、そんな学びを仕事に活かせる。それがパレスの良いところの一つだと思う。

👍 今月のワイズ用語

エルマークロウ賞  
Elmer Crowe Award

年度中に特に傑出した働きをした部長に与えられる国際賞。任期半ばで倒れたカナダの元理事エルマー・クロウ氏を記念して創設された。区理事が受賞候補者を地域会長に推薦し、国際会長が最終決定する。